

エイシンフラッシュ

14,691票



府中の直線に煌めいた閃光

閃光は二度、煌めいた。

一度目は2010年日本ダービーだった。3歳春、京成杯で重賞初制覇となったエイシンフラッシュは、続く皐月賞の3着から日本ダービーへ。皐月賞馬ヴィクトワールピサを筆頭に史上最高とも評されたメンバーが揃う中、直線で先頭に立とうとするローズキングダムの内を急襲。今も日本ダービー史上最速となっている上がり3ハロン推定32秒7の末脚で差し切り、世代の頂点に立ってみせた。

しかしエイシンフラッシュは、ここから勝ち星に見放される。天皇賞(春)でヒルノダムールの半馬身差2着、有馬記念でオルフェーヴルの¼馬身差2着など好走はするものの、あと一歩で勝利に届かない。二度目の輝きが訪れたのは最初の栄誉から2年半近く経った後の東京競馬場であった。

5歳を迎えた2012年の天皇賞(秋)は、近代競馬150周年記念と銘打たれ、7年ぶりに天皇皇后両陛下の行幸啓を賜った特別な一戦

となった。注目はこの年の日本ダービー2着馬フェノーメノ、春に香港でG1制覇を飾ったルーラーシップ、NHKマイルカップや前走の毎日王冠を含むデビュー5連勝中の3歳馬カレンブラックヒルなど。レースはシルポートの大逃げで進み、離れた中団でじっくり進んだエイシンフラッシュは、直線、内ラチ沿いから一気に抜け出すと、そのままゴールへ。文字通り、閃光のような末脚で鮮やかに差し切ったのだった。

ウイニングランでスタンド前に戻ってきた人馬が見せたのは、競馬史に残る名シーンだった。エイシンフラッシュを貴賓席の下まで誘導したM.デムーロ騎手は、馬上から降りて脱帽すると、片膝をついて両陛下へ向かって深々と最敬礼。東京競馬場のスタンドからは祝福と賞賛の拍手と大歓声が鳴り止まなかった。

その後も6歳まで走り、トップクラスでの好走を重ねたエイシンフラッシュ。最後の勝利は1年後の毎日王冠。やはり府中だった。

第146回 天皇賞(秋) (GI)

2012年10月28日 東京競馬場 2000m(芝・左) 曇・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	エイシンフラッシュ	牡5	58	M.デムーロ	藤原 英昭	1:57.3	⑤	11 12 12
2	フェノーメノ	牡3	56	蛸名 正義	戸田 博文	1/2	①	4 4 4
3	ルーラーシップ	牡5	58	L.マンティガバル	角居 勝彦	1 1/4	②	16 15 15
4	ダークシャドウ	牡5	58	福永 祐一	堀 宣行	3/4	④	9 11 11
5	カレンブラックヒル	牡3	56	秋山真一郎	平田 修	アタマ	③	2 2 2

エイシンフラッシュ Eishin Flash 2007年3月27日生 牡 黒鹿毛

父:King's Best 母:ムーンレディ 母の父:Platini
生産:千歳・社台ファーム 馬主:平井豊光氏→平井克彦氏
通算成績:27戦6勝(うち海外2戦0勝)

主な勝ち鞍

- 2013年 毎日王冠(GII)
- 2012年 天皇賞(秋)(GI)
- 2010年 日本ダービー(GI)、京成杯(GIII)



2010年日本ダービー(GI)

メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。
4位:エイシンフラッシュ(14,691票)

1^位 **アーモンドアイ** 38,497票



2020年の本競走を、単勝オッズ1.4倍の圧倒的人気に応じて優勝した。前年の19年も単勝オッズ1.6倍で勝利しており、牝馬として唯一、天皇賞(秋)連覇を飾っている。

2^位 **キタサンブラック** 20,150票



2017年の優勝馬。不良馬場のなか1番人気に推された同馬は、中団追走から直線で力強く伸びて勝利し、史上5頭目となる同一年天皇賞春秋連覇を達成した。

3^位 **ウオッカ** 19,035票



歴史的名勝負と評される2008年本競走の覇者。逃げた同期のダイワスカーレットに直線で迫り、わずかに2馬とと言われるハナ差の勝利を果たした。

5^位 **エアグルーヴ** 13,643票



最後の直線で前年の優勝馬バブルガムフェローの猛追をクビ差抑えて勝利した1997年の覇者。本競走が芝2000m戦となった84年以降で牝馬の勝利は初のことであった。



特設サイト

同一の競走馬が複数のレースで1位となった場合、その競走馬は最も多く票を獲得したレースの「メモリアルヒーロー」といたします。その他のレースにつきましては、2位以下となった競走馬から得票数の多い順に繰り上げとなります。(同一の競走馬が複数レースの「メモリアルヒーロー」となることはありません。)